

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	真岡市役所総務部デジタル戦略課			代表者名	仁平 映夫
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略課	連絡先電話番号	0285-83-8394
担当者役職	主査	担当者氏名	池澤 さより	連絡先E-mail	
住所	321-4395 栃木県真岡市荒町				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	データ利活用・EBPMの手法取得支援
概要	データ利活用・EBPMの手法取得支援		
支援を求める分野	オープンデータ EBPM		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月5日	講演(実地)	10時00分	12時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	真岡市役所	最寄駅	真岡駅	
	所在地	栃木県真岡市荒町5191番地	最寄駅からの交通手段	徒歩15分・タクシー5分	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	データ利活用に対する職員の理解促進に貢献していただいた点です。自治体DXの意義やデータ利活用の重要性をわかりやすく伝えていただき、職員が業務にどのようにデータを活用するかについての意識を高めることができました。実務への落とし込みが不十分という意見もありますが、限られた時間の中で具体的な事例や応用方法を紹介し、職員が業務改善に向けてデータ活用の可能性を見出せるようにサポートした点で、研修内容が非常に有益であったと感じています。
アドバイザーへの要望事項	データ利活用の実践につなげるために、他自治体の先事例や、すぐに実践可能な活用例の紹介、庁内のデータ共有・活用にに向けたルール整備のための助言等をお願いできればと考えています。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	22人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体 その他(学生など)	
人数	22		

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	令和8年度から本格的にデータ利活用およびEBPMを推進を検討するにあたり、庁内全体での理解と実践の広がり重要な課題となっていますが、実務レベルでデータ利活用を行っている部署はほとんどないのが現状です。今回の2回の支援では、幹部職員およびDX推進員・協力員、DXアドバイザーに「自治体DXにおけるデータ利活用」研修を実施し、データ利活用への理解促進などを行いました。3回目の支援では、各部署のオープンデータ担当者やデータ活用に関心がある職員向けに研修を実施し、実際の業務に活かせるのか等、より実務レベルに落とし込み、データ利活用の重要性や有効性を深く理解してもらうことが求められます。これにより、データに基づく政策立案の基盤を構築し、より効果的な自治体運営を目指します。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	データ利活用の推進によって住民一人ひとりに効果的な施策を講じられる可能性があることを職員が理解することを目指します。また、研修を受講した職員が、自身の所属部署において活用可能なデータが存在するかを確認し、自らの担当業務におけるデータ利活用の可能性を積極的に探る姿勢を醸成するとともに、所属部署全体のデータ利活用をけん引する役割を担えるようになることを期待します。これにより、職員がデータを政策立案や業務改善に活用する意識を高め、実際の業務におけるデータ利活用の推進を加速させる基盤を構築します。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修では、国のDX方針や現状、データ活用・オープンデータの重要性について講義を実施いただきました。対象は、各所属においてオープンデータの更新を担当する職員およびデータ活用にに関心がある職員です。講義は「自治体DXの推進意義とBPR・データ活用」をテーマに行われました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修では、データ活用の意義や実務への適用について理解を深める機会を得ました。実務担当者からは、「日常業務で収集しているデータの活用方法が分からなかったが、具体的な分析手法を学ぶことで業務改善につながれると感じた」「データを可視化することで、課題の特定や業務の優先順位付けがしやすくなる」といった意見が寄せられました。 また、「データを蓄積するだけでなく、業務の意思決定に活かす視点が重要であると気付いた」「他部署とデータを共有することで、より効果的な政策立案が可能になると感じた」といった気付きも見られました。特に、データ分析の基本的な手法やツールの活用事例を学ぶことで、業務への応用イメージを持つことができたとの声が多く、今後の業務改善や施策立案に向けた意識変革につながる成果が得られました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 現時点ではありません。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修を通じ、データ活用に対する理解は深まったものの、今後の検討が必要な事項が明らかになりました。 まず、各部署における具体的なデータ収集方法や分析手法の確立が課題として残った。例えば、総務部では来庁者の属性データ収集やオンライン申請拡大の手法、市民生活部では窓口来庁者の特性分析とニーズに即したDX推進の方法が検討段階にあります。また、建設部・上下水道部ではGISデータの公開や道路舗装異常のデータ活用に関する技術的な課題、健康福祉部では高齢者保健福祉施策へのデータ活用方法の具体化が今後の課題となります。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ※アンケート回答率48%時点 研修の理解度(5段階評価) 平均3.75 業務への活躍度 平均3.53 【数値分析】 ・研修の理解度：平均3.75 業務への活用度：平均3.53 理解度に比べると、業務への活用度がやや低く、実践への課題が浮かび上がりました。 -主な要因(数値に対する理由記述) 業務時間やリソースの不足、データ活用の具体的な手順や理解不足、業務特性に関する制約、意識やモチベーションの低さです。忙しい業務の中で時間が確保できず、データ活用の方法が不明確であることが課題です。また、個人情報や法令制約、業務量の増加が取り組みに対する躊躇を生み、データ活用の利点が見えにくいことが意識の低さに繋がっています。 【記述内容分析】 多くの参加者は、庁内でのデータ活用やデジタル化の重要性を認識し、業務改善に繋がると感じています。具体的には、窓口業務や施設利用者情報の分析、データ整理・共有による効率化が挙げられました。課題としては、個人情報の取り扱いやデータの整理・デジタル化があり、これを解決するためには職員間での協力と統一的なデータ管理が重要であると認識されています。また、データを用いた住民サービスの向上や業務の効率化に関心があり、今後さらに実務に基づいた研修のニーズが高まっています。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい データ活用やEBPMの自走を前提に、庁内事例創出に向けて調査研究を行います。	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	データを基に「本当に住民に必要な施策」を立案し、地域特性や住民個々のニーズに応じた施策を的確に届けられる自治体を目指します。そのために、データ活用を通じて課題を分析し、効果的かつ効果的な施策を展開します。最終的には、住民が実感できる形で福祉やサービスの向上を図り、信頼される自治体としての役割を果たします。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	
<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>		
<p style="text-align: center; color: red;">なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

